

通し番号	3826
------	------

分類番号	13・5B・22・02
------	-------------

(成果情報名) イタリアンライグラスの品種比較試験	
<p>[要約] 試験期間中発芽及び初期成育は、良好であった。出穂期の平均は極早生で4月12日、早生で4月22日、中生及び中晩生で4月29日であった。倒伏程度は、極早生でハミワが最も少なく、早生でワヅカ、好ワ及び好マサが少なく、中生及び中晩生で、マンセイリアンBが他の品種と比較して若干少なかった。乾物収量は、極早生でワヅカが低収であり、早生で奨励品種好ワが多収であり、次に好マサであった。中生及び中晩生は、タムシャが多収であり、次にイクセント、マンセイリアンBの順であった。県奨励品種としてハミワ、好マサ、マンセイリアンBが新たに選定された。</p>	
(実施機関・部名) 畜産研究所・畜産工学部	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

県内で販売されている極短期利用型及び短期利用型のすべての品種を同時に栽培し、品種の特性と生産性を比較検討し、県奨励品種改訂の基礎資料とする。

[成果の内容・特徴]

- 1 出穂期は極早生で15日間の差があったが、平均で4月12日であった。早生は、18日間の差があり、平均で4月22日であった。中生と中晩生の間には特に差はなく、13日間の差であり、平均で4月29日であった(表1)。
- 2 倒伏は、極早生でハミワが3年間なく、次にワヅカが少なかった。早生は、奨励品種ワヅカ、好ワ及び候補品種好マサが、平成11、13年の倒伏は少なかった。中生及び中晩生は、マンセイリアンBが他品種と比較して若干少ない傾向にあった(表2)。
- 3 平均乾物収量は、極早生でワヅカが低収であり、その他の品種は差がなかった。早生は、奨励品種好ワが最も多収であり次に好マサであった。中生及び中晩生は、タムシャが最も多収であり、次にイクセント、マンセイリアンBの順であった(表3)。
- 4 各利用型毎に有望品種を神奈川県飼料作物奨励品種選定協議会で検討した。極早生は、倒伏に強く収量も平均的なハミワ、早生は、倒伏に強く候補品種のなかで最も多収の好マサ、中生及び中晩生は、多収であるタムシャ、比較的倒伏の強いマンセイリアンB、以上4品種を推薦したところ、すべて奨励品種として新たに選定された。

[成果の活用面・留意点]

- 1 本県に適した奨励品種を選定、啓蒙普及することにより飼料自給率の向上を図る。

[具体的データ]

表1 各品種の年次別出穂期

品 種 名	早晚性	出穂期			平均
		H11	H12	H13	
ハナミワセ	極早生	4/8	4/10	4/8	4/8
ミナミアオバ	極早生	4/14	4/23	4/12	4/16
ウズキアオバ	極早生	4/14	4/14	4/11	4/13
ワセフドウ	極早生	4/10	4/14	4/10	4/11
極早生種平均		4/11	4/15	4/10	4/12
ハルカゼ	早生	4/22	4/24	4/20	4/22
ワセホープ	早生	4/22	4/27	4/29	4/26
ワセアップ	早生	4/22	4/27	4/11	4/20
ニオウダチ	早生	4/22	4/27	4/20	4/23
タチマサリ	早生	4/23	4/25	4/18	4/22
ワセアオバ	早生	4/23	4/28	4/20	4/23
タチワセ	早生	4/23	4/25	4/17	4/21
早生種平均		4/22	4/26	4/19	4/22
エクセレント	中生	4/27	4/27	5/1	4/28
S I - 9	中生	4/28	4/28	4/26	4/27
タチムシャ	中生	4/27	5/2	4/26	4/28
カネコジャイアント	中晩生	4/27	5/2	4/29	4/29
イタリアマンモスB	中晩生	4/23	5/5	5/1	4/29
中生・中晩生種平均		4/27	5/2	4/28	4/29

H11：平成10年10月12日に条播 H12：平成11年10月14日に条播
H13：平成12年10月17日に散播

表2 年次別倒伏程度

品 種 名	早晚生	倒伏程度		
		H11	H12	H13
ハナミワセ	極早生	1.0	1.0	1.0
ミナミアオバ	極早生	8.0	8.0	1.0
ウズキアオバ	極早生	8.0	2.0	1.0
ワセフドウ	極早生	2.0	2.0	1.0
極早生種平均		4.8	3.3	1.0
ハルカゼ	早生	6.0	8.0	5.0
ワセホープ	早生	6.0	8.0	1.0
ワセアップ	早生	7.0	8.0	1.0
ニオウダチ	早生	4.0	8.0	1.0
タチマサリ	早生	1.0	8.0	1.0
ワセアオバ	早生	2.0	8.0	1.0
タチワセ	早生	2.0	8.0	1.0
早生種平均		4.8	8.0	1.8
エクセレント	中生	8.0	8.0	8.0
S I - 9	中生	6.0	8.0	1.0
タチムシャ	中生	8.0	8.0	1.0
カネコジャイアント	中晩生	8.0	8.0	8.0
マンモスイタリアンB	中晩生	4.0	8.0	2.0
中生・中晩生種平均		6.9	8.0	4.0

評点：1（無）～9（多）

表3 年次別乾物収量

品 種 名	乾物収量(kg/a)			
	H11	H12	H13	平均
ハナミワセ	95.0	132.5	74.1	100.5
ミナミアオバ	102.5	144.6	79.6	108.9
ウズキアオバ	126.4	114.4	76.2	105.7
ワセフドウ	98.4	113.7	58.9	90.4
極早生平均	105.6	126.3	72.2	101.4
ハルカゼ	139.4	127.9	96.1	121.1
ワセホープ	105.4	159.1	97.0	120.5
ワセアップ	110.3	139.2	70.1	106.5
ニオウダチ	65.4	129.8	81.3	92.1
タチマサリ	133.1	174.1	83.1	130.1
ワセアオバ	114.8	148.4	70.6	111.3
タチワセ	212.2	168.3	85.5	155.4
早生平均	125.8	149.5	83.4	119.6
エクセレント	170.4	157.7	107.0	145.0
S I - 9	122.0	175.4	73.9	123.7
タチムシャ	178.9	171.9	100.7	150.5
カネコジャイアント	134.9	153.7	118.8	135.8
マンモスイタリアンB	143.4	192.9	86.3	140.9
中生・中晩生平均	149.9	170.3	97.3	139.2

H11：平成10年10月12日に条播 H12：平成11年10月14日に条播
H13：平成12年10月17日に散播

[資料名] 平成13年度試験研究成績書(繁殖工学・乳牛・肉牛・飼料作物)

[研究課題名] 飼料作物奨励品種選定試験

[研究期間] 平成10～13年度

[研究者担当名] 久末修司・荒木尚登・水宅清二・丹波義彰